

1 戦略策定の目的

本市では、自動車交通への依存が高い割合を占めており、活力ある地域社会や安全で快適な市民生活を実現するうえで道路等の社会基盤の整備は不可欠となっている。

その一方で、公共交通の利用が減少してきており、超高齢社会を迎えた本市においては、車を運転できない、いわゆる交通弱者の移動手段を確保することが必要となっている。

さらに、持続可能なまちづくりを推進するために、都市交通をいかに再構築するかが課題となっている。

これらの課題に適切に対応するには、関係機関との連携を強化し、都市交通¹に関連する複数の施策を組み合わせることで総合的に取り組むことが必要であり、その際、事業スピードを重視しつつ、重点的かつ効率的な事業展開を図ることが重要である。

そこで、安全で円滑な交通の確保と将来を見据えた持続可能な都市づくりを進めるため、総合的な都市交通のあり方や必要な施策・事業に関して目標を定め、ハード・ソフト両面からなる「秋田市総合交通戦略」を策定²する。

1 都市交通とは、都市内の移動手段と定義。

2 策定に際しては、平成20年7月に認定された秋田市中心市街地活性化基本計画および平成20年度に策定された秋田市公共交通政策ビジョン(以下「政策ビジョン」という。)と連携して行うものとする。